

府高教 ニュース

2021年2月25日 (木)

速報 No. 7

発行所：大阪府立高等学校教職員組合
〒543-0021 大阪市天王寺区東高津町7-11
大阪府教育会館707号
☎06(6768)2106 FAX 06(6768)1675
http://osaka-fuko.dyndns.org/
eメール osakafko@jn3.so-net.ne.jp

道理のない高校つぶしやめよ！ 大阪の高校を守る会

9,855名分の署名を提出

—府立学校条例の抜本見直しを府議会に請願—

■本日開会の二月府議会に署名提出

2月25日(木)、大阪府議会が開会されました。府高教と「大阪の高校を守る会」は、この日までに集約された『定員』を理由にした高校つぶしに反対し、府立学校条例の抜本の見直しを求める請願書」署名9855名分を、府議会事務局に提出しました。

請願項目は5つで、①「3年連続して定員に満たない高校は再編整備の対象」としている府立学校条例を抜本的に見直し「定員」を理由にした高校つぶしをやめること、②再編整備計画を抜本的に見直し「2023年度までに府立高校・大阪市立高校あわせて8校程度を募集停止する」との方針を撤回すること、③大阪市立高校3校(泉尾工業・東淀工業・生野工業)の統廃合を行わないこと、④「少子化」をチャンスと捉え、「20人学級」など少人数学級の実現、学校規模の縮小など、すべての府立高校の教育条件を改善すること、⑤募集停止が実施された学校の教育条件を低下させず、生徒が卒業まで安心して高校生活を送れる学校環境を大阪府の責任で保障すること、となっています。

■7年間の署名累計は約15万名に！

2012年の改定府立学校条例制定を背景に、2014年から、「志願者が定員に満たない」ことを理由に、池田北、咲洲、西淀川、大正、柏原東、長野北と6つの府立高校が募集停止し廃校となりましたが、いずれも地域の学校として重要な役割を果たしてきた学校ばかりです。「大阪の高校を守る会」は、再編整備の対象となった学校の生徒・卒業生、保護者、教職員、地域住民を中心に結成され、毎年、府教委宛ての要請書名、府議会宛ての請願署名などにとりこんできました。この7年間に集約された署名は、今年度分をあわせ累計で約15万名に上ります。

本日の提出に際して大阪の高校を守る会の奥野会長(元咲洲高校・現西成高校PTA会長)は、「私たちは我が子の学校へのノスタルジーで運動をしているのではない。少子化で学校を減らすことが必要だとしても、学校を競わせ『定員』を理由にするやり方では地域で子どもたちの受け皿となっている学校がなくなる。大阪の子どもたちの学ぶ権利を守るために運動している」と述べ、志摩事務局長は、「そもそも府立高校の定員にはゆとりがあつて当たり前。コロナで学校の密が問題になり20人学級など少人数学級が求められている中、それに逆行する高校つぶしはやめるべきだ」と述べました。

■府教委も「郊外部の受け皿の減少が課題」と

府教委は1月25日、12年ぶりに大阪府学校教育審議会(学教審)を招集し、「今後の府立高校のあり方」について諮問を行いました。その中で、「生徒の地元志向」が高いことを示しつつ、「郊外部に位置する生徒の受け皿(となる学校)の減少」を「課題」として述べています。「定員」を理由にした高校つぶしが、地域で重大な矛盾を引き起こしていることを、府教委自身が認めたものです。

府教委は、今年度、コロナ禍で中学生・保護者の不安が高まっていることを理由に、募集停止の発表を行いませんでした。これは当然の判断です。ところが維新の会は、9月議会でこれについて質問し、「3年連続の2校に加え、2年連続の学校が11校ある」と追及、教育長に「来年度は募集停止も含めた再編整備についてしっかりと判断していく」と答弁させました。来年度の統廃合が強く懸念されます。子どもたちの「学ぶ権利」を奪う道理のない高校つぶしをこれ以上続けさせてはなりません。元凶である府立学校条例の抜本見直しに向けて、請願の採択が強く求められています。

署名は3月4日まで追加提出できます
お手元にある署名はただちに搬入してください